

令和7年12月1日

学校法人鬼木医療学園
国際鍼灸専門学校
校長 藤本 武久 殿

学校関係者評価委員会
委員長 粕谷 大智

学校関係者評価委員会報告書

令和6年度自己点検評価に基づき、下記のとおり学校関係者評価を実施しました。

記

1. 学校関係者評価委員

- ① 粕谷 大智 (新潟医療福祉大学鍼灸健康学科教授)
- ② 小林 潤一郎 (東京都鍼灸師会会長、日本鍼灸師会副会長)
- ③ 佐坂 浩二 (麗澤中学・高等学校教諭)

教職員

藤本武久 (校長)
和田悠一 (学科長)
豊田雄亮 (教員)
川原田梓 (事務長)

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和7年10月25日(土) 15:00~17:30
会場：国際鍼灸専門学校 講堂

3. 令和6年度事業計画の概要説明

校長より令和6年度事業計画、学生状況、自己点検評価、学校評価ガイドラインの改定についての説明。

4. 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

1. 教育理念・目的・目標

教育理念、目的及び目標の設定等について確認した。

教育理念に基づき、目的及び目標を設定し、広報活動において周知されている。

2. 教育課程、教育の実施、学修成果

教育課程編成、教育の実施、単位認定、目標の達成状況について確認した。

目標達成に向けた学校の取り組みは成果が全てであり、あはき師国家試験100%合格は素晴らしいと考える。

これまでも臨床実習には力を入れて取り組んでいたが、外部施術所実習を導入し、開業をしている卒業生を基本に教育理念や内容を共有できる体制を構築して、実習の充実を図っている。同窓生との連携をさらに強め、実習に取り組んだ学生たちの生の声を発信することで、魅力を伝えていけるとさらに良い。

3. 学生の受入れ、学生支援

学生募集及び入学者の選抜、自主的な学習の促進、学生支援について確認した。

定員は充足されていないが適正に選考し、あはき師養成学校として責任を果たしている。

最近では様々な学校でも学習継続が困難な学生が増えている状況で、問題を抱える学生に対し適切に対応していて、前年の委員会において提案したことも積極的に実行する姿勢がみられる。今後はカウンセラーの配置や担任制の工夫など支援に対応する体制を強化できるとよい。

学生アンケートの活用面で、回数や時期の検討が必要である。特に経済面においても学習継続が困難な学生が増えているので、専門実践教育訓練給付金や修学支援新制度、奨学金などを継続していくことが重要である。

就職支援では就職したが辞めてこの業界から離れてしまうことないようにライフデザインをしっかりと持てるような指導を続けて欲しい。

4. 教育実施組織・教員

教員の配置や採用、教員の組織編制、資質の向上について確認した。

教育課程を実施するために必要な資格要件を備えた教員を確保するため、基準等が整備され、法律に基づき適正に任用されている。しかしながら、現状では少ない人数でありながら、よくやっている状況である。学園として年間休日数を増やすなど働きやすい環境を整備する取り組みをしているので、専任

教員の採用計画を検討し、人員確保の安定性を高めることが必要である。

教員の質の向上については、学会や研修会への参加を促すサポートを実施しており手厚い取り組みがなされている。さらに、FDも昨年より復活し、質の向上には努めている。業団体としても積極的に連携し、教員の質の向上に協力したい。

5. 教育環境

教育環境の整備、安全対策、施設・設備の改善について確認した。

校舎の建て直しをして4年目であり、施設、設備等の点検などは法律に基づき適正に実施している。また、防災・安全対策も適切になされている。

6. 教育活動の基盤と改善・向上の取組

財務基盤、学校運営、学校評価の実施と改善活動、情報公開について確認した。

教育活動を運営できる収入基盤は概ね確保され、事業計画において教育活動及び学校運営の方針が示されていることを確認した。

今後の改善方策にある動画や写真を活用した「学びの見える化」は学生募集の面からも非常に重要であり、もっとライブ感のあるSNSを中心とした広報活動を強く進めて欲しい。授業自体もオンデマンドの検討を進めるなど、時代に合わせた教育活動を考えて欲しい。

総評（委員長）

目に見えて変わってきていることを感じる。以前よりも努力されて、国家試験も100%合格は大変素晴らしいことなので、かなり先生方のご苦勞があったと思う。法人と教職員の風通しをよくして、学校をよりよくして行って欲しい。

以上